

## 都内一病院におけるフェレット 198 症例の疾病の発生状況

三輪恭嗣<sup>1), 2)†</sup> 保阪盛次<sup>2)</sup> 佐々木伸雄<sup>1)</sup>

1) 東京大学農学部 (〒113-8657 文京区弥生1-1-1)

2) 東京都 開業 (みわエキゾチック動物病院: 〒114-0015 北区中里2-11-3)

(2009年2月6日受付・2009年6月17日受理)

## 要 約

2006年11月から2008年4月の間に動物病院に来院したフェレットの疾病発生状況を調査した。その結果、198頭のフェレットに261疾患が確認された。疾患としては内分泌疾患(34.9%)、消化器疾患(17.6%)、皮膚疾患(10.3%)などの発生率が高く、泌尿器系、血液・リンパ系疾患がそれに続いた。疾患別では副腎疾患(24.5%)、インスリノーマ(10.0%)、下痢(6.5%)などの発生率が高く、耳ダニ、腎疾患がそれに続いた。また、腫瘍性疾患の発生率が高い傾向にあった。各疾患の発生年齢には差がみられ、内分泌疾患は中～高齢で、耳ダニは1歳未満の若齢時に、下痢は1歳未満と中～高齢にかけて発生率の増加がみられた。——キーワード：疾患、フェレット、発生率、日本。

----- 日獣会誌 62, 947～951 (2009)

† 連絡責任者：三輪恭嗣 (みわエキゾチック動物病院)

〒114-0015 北区中里2-11-3 SKハウス102

☎03-6421-3722 FAX 03-6421-3723

E-mail : miwayasutsugu@hotmail.com